

平成22年度 事務事業評価

整理番号

1-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	07	02
細事業名	京丹後ふるさと応援団運営事業					

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	村田 雅之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 1 定住対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 本市に愛着、興味又は関心を持つ本市出身者、本市への訪問者等をもって組織する京丹後ふるさと応援団を運営し、もって本市における交流人口の増加及び定住の促進を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 継続的な団員数の増加。平成21年度370人⇒1000人 ・交流人口の増加による市内協賛店の利用者増加(経済波及効果)と、それに伴う市内協賛店の増加。平成21年度43店舗⇒100店舗

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 本市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と定住の促進を図ることを目的に、本市に愛着、興味または関心を持つ本市以外の在住者を対象に、申込者を団員として登録し、年4回の会報誌等の送付により本市の情報発信を行った。また、団員証を提示することにより、特典として割引等の優待を受けることのできる市内協賛店の拡大を図った。 団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市PRと団員の拡大に努めた。また、大使との交流と意見交換を目的に、本市内で団員の集い「団員交流会」を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) ふるさと応援団員370人(うち、ふるさと応援大使236人) 特製名刺作成数…11,200枚 協賛店増加数…13店舗

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	11	402	国庫支出金	
	12	275	府支出金	
	13	1,199	起債	
			分担金・負担金	
			その他	京丹後ふるさと応援団 293
				未来づくり交付金
			一般財源	1,583
事業費合計		1,876	合計	1,876

CHECK		
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 会報誌送付などによる定期的な交流で双方のつながりを密にすることで、本市への訪問機会を増やしていただくため、割引などの特典が受けられる市内協賛店の拡大に努めた。また、団員の中から任意の大使(ふるさと応援大使)を委嘱し、特製名刺を配付していただき、全国各地での京丹後市のPRにつながった。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
▲ 削減の余地がなかった	理由 年4回発行の会報誌について、広告掲載収入を行うことによる一定の財源確保やコスト削減が考えられる一方で、名簿管理など行政が行うことへの信用がある中で、広告掲載を行うことへの批判もあり、継続した検討が必要と思われる。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 制度開始から3年が経過したが、制度定着に向けた更なる取り組みが求められるため、最低限、現状を維持し、更なる団員・大使・協賛店の増加に努める必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 団員・大使・協賛店の更なる増加を図れば、本事業の目的である交流人口の増加につながり、更には移住・定住に向けた取り組みにも発展することができることから、事業の拡大を図る。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
1-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	07	05
細事業名		空き家情報バンク運営事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	村田 雅之

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 1 定住対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市総合計画に掲げる目標人口を達成するため、京丹後市定住空き家情報バンクを運営する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 本市への移住・定住者の増加を図る。
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市定住空き家情報バンクの運営に際し、移住希望者等に対する空き家情報バンクを広くPRするためのパンフレットを作成した。 また、市内の宅建事業者に呼びかけ、応募のあった3社と定住空き家情報バンクの運営に関する協定を締結し、定住空き家情報バンクシステムを協働して運用することにより、移住希望者からの物件問い合わせにも対応できるようにした。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 協定締結宅建事業者…3社 京丹後ふるさと応援団員へのパンフレット送付。(新規・更新時) 10,000部作成。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	57	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		57
事業費合計		57	合計		57

CHECK							
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市定住空き家バンクのシステム運用を開始したことにより、本市への移住・定住を希望する方々からの問い合わせに対応する基盤が整った。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 京丹後市定住空き家バンクのシステム運用を開始したことにより、本市への移住・定住を希望する方々からの問い合わせに対応する基盤が整った。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 京丹後市定住空き家バンクのシステム運用を開始したことにより、本市への移住・定住を希望する方々からの問い合わせに対応する基盤が整った。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 事業費としては、パンフレット代の印刷製本費のみで必要最低限の予算であるため、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 事業費としては、パンフレット代の印刷製本費のみで必要最低限の予算であるため、削減の余地はなかった。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 事業費としては、パンフレット代の印刷製本費のみで必要最低限の予算であるため、削減の余地はなかった。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 平成21年度からの事業開始のため、当面は本事業の定着を図る意味でも、事業の現状を維持することが必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 平成21年度からの事業開始のため、当面は本事業の定着を図る意味でも、事業の現状を維持することが必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 平成21年度からの事業開始のため、当面は本事業の定着を図る意味でも、事業の現状を維持することが必要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 本事業を定着させ、更に発展させるためにも、引き続き、空き家情報バンクシステムを協働して運営する市内の宅建事業者の拡大を図り、物件に関する情報量の充実を進めていく必要がある。また、空き家の修繕に対する助成制度等、検討していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 本事業を定着させ、更に発展させるためにも、引き続き、空き家情報バンクシステムを協働して運営する市内の宅建事業者の拡大を図り、物件に関する情報量の充実を進めていく必要がある。また、空き家の修繕に対する助成制度等、検討していく必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 本事業を定着させ、更に発展させるためにも、引き続き、空き家情報バンクシステムを協働して運営する市内の宅建事業者の拡大を図り、物件に関する情報量の充実を進めていく必要がある。また、空き家の修繕に対する助成制度等、検討していく必要がある。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
1-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	07	06
細事業名		水と緑の里活性化推進事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久雄
担当者の氏名	松崎 健児

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ① 定住の促進 施策方針 1 定住対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 「百歳長寿京丹後市水と緑の里連絡会」を中心に、農山漁村活性化先進地視察や勉強会などを実施し、集落の再生・活性化に取り組むためのきっかけづくり及び課題解決を図るとともに、限界集落化に歯止めをかける。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 国・府及び市のまちづくり支援制度の活用 年間5件
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 「百歳長寿京丹後市水と緑の里連絡会」を構成する集落等を中心に、農山漁村活性化のための勉強会を実施した。総務省の集落支援員制度を活用した水と緑の里づくり支援員制度や、田舎で働き隊等各制度の取組事例について、勉強・情報共有等を行い、集落の再生・活性化へ向け、各支援制度の活用を促した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 総務省の集落支援員制度を活用した水と緑の里づくり支援員制度の創設や、田舎で働き隊等各制度の取組事例について、勉強や情報共有等を行うことにより、集落の再生・活性化へ向け、各支援制度の活用を促すことができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	55	国庫支出金		
	11	20	府支出金		
	19	10	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		85
事業費合計		85	合計		85

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">総務省の集落支援員制度を活用した「水と緑の里づくり支援員制度」や「田舎で働き隊」等各制度の取組み辞令について、勉強や情報共有を行うことにより、集落の再生・活性化へ向け、各支援制度の活用を促すことができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	総務省の集落支援員制度を活用した「水と緑の里づくり支援員制度」や「田舎で働き隊」等各制度の取組み辞令について、勉強や情報共有を行うことにより、集落の再生・活性化へ向け、各支援制度の活用を促すことができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	総務省の集落支援員制度を活用した「水と緑の里づくり支援員制度」や「田舎で働き隊」等各制度の取組み辞令について、勉強や情報共有を行うことにより、集落の再生・活性化へ向け、各支援制度の活用を促すことができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域の活性化に向けて有効な情報を共有するに必要な事業であり、コスト削減の余地はないが、予算執行にあたっては経費縮減に可能な限り努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地域の活性化に向けて有効な情報を共有するに必要な事業であり、コスト削減の余地はないが、予算執行にあたっては経費縮減に可能な限り努めた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地域の活性化に向けて有効な情報を共有するに必要な事業であり、コスト削減の余地はないが、予算執行にあたっては経費縮減に可能な限り努めた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">総務省の集落支援員制度を活用した水と緑の里づくり支援員の配置が開始する等支援制度の活用は順調に進んでいるため。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	総務省の集落支援員制度を活用した水と緑の里づくり支援員の配置が開始する等支援制度の活用は順調に進んでいるため。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	総務省の集落支援員制度を活用した水と緑の里づくり支援員の配置が開始する等支援制度の活用は順調に進んでいるため。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	同上		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	同上					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
6-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	03	09	01
細事業名		森の全国交流拠点運営事業				

担当部局	担当課長の氏名
企画総務部	
担当課等	担当者の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ⑤ 観光の振興 施策方針 5 健康志向に対応した観光の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 蒲井・旭地域振興計画の「事業計画」に基づき、平成20年に制作を行ったツリーハウスの管理運営を行うことにより、蒲井・旭地域を心と体に優しい場所として全国に向け発信する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) ツリーハウス年間利用者数:2,000人 体験メニュー数:5メニュー

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ツリーハウスの管理主体である風蘭の館管理運営委員会に対し管理業務の委託(委託料60千円)を行い、ツリーハウスの制作者である(株)ツリーハウスクリエイションに対し保守点検業務の委託(委託料158千円)を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) ツリーハウス利用者数:1,524人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	30	財源内訳	国庫支出金	
	12	3		府支出金	
	13	217		起債	
	14	6		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	256	
事業費合計		256	合計		256

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 平成20年度利用者数:190人 平成21年度利用者数:1,524人</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 平成20年度利用者数:190人 平成21年度利用者数:1,524人	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 平成20年度利用者数:190人 平成21年度利用者数:1,524人					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 ツリーハウスの保守点検や管理に係る費用であり、管理運営を行ううえで必要経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 ツリーハウスの保守点検や管理に係る費用であり、管理運営を行ううえで必要経費である。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 ツリーハウスの保守点検や管理に係る費用であり、管理運営を行ううえで必要経費である。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 蒲井・旭地域の振興に寄与するために、更なるツリーハウスの利用促進を図る。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 現状の事業規模のなかで、より効率的かつ効果的な利用促進策を展開していく必要がある。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
6-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	01	04
細事業名		オープンカレッジ丹後学推進事業				

担当部局	企画政策部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	竹内 昌明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ⑤ 観光の振興 施策方針 7 情報発信の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の歴史・文化・観光資源の魅力を発信できる人材を育成し、地域情報発信力の強化を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) オープンカレッジ受講者数(H17年度～H21年度までの総数) 125人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域全般にわたる知識を持ち来訪者に提供できる人材を育成するための座学講座及び現地研修、NPO団体の代表等を講師に招き実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) H21年度受講者数 23人(H17年度からの総数119人)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	208	財源内訳	国庫支出金	
	9	93		府支出金	
	11	26		起債	
	13	19		分担金・負担金	
			その他	オープンカレッジ丹後	23
			一般財源		323
事業費合計		346	合計		346

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">内容の充実を図るため、開講から開講までに計8回のカリキュラムで実施した。連続して参加できる人が限られたものの、概ね目標どおり進捗した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	内容の充実を図るため、開講から開講までに計8回のカリキュラムで実施した。連続して参加できる人が限られたものの、概ね目標どおり進捗した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	内容の充実を図るため、開講から開講までに計8回のカリキュラムで実施した。連続して参加できる人が限られたものの、概ね目標どおり進捗した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">講師謝礼など、座学講座開催にあたり最小限の経費にとどめた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼など、座学講座開催にあたり最小限の経費にとどめた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼など、座学講座開催にあたり最小限の経費にとどめた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	C A 現状維持	理由	参画したNPO主体での実施に向けて検討する必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	C A 事業拡大	理由	参画したNPO主体での実施に向けて検討する必要がある。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
27-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	01	01	07	04	01
細事業名		国際交流活動推進事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	嶋本 友美

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ⑤ 国際交流と地域間交流の推進 施策方針 1 国際化にふさわしい環境整備 2 国際交流支援の仕組みづくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民と諸外国の人々との親善活動を通じ、幅広い分野で市民の異文化への理解と交流を推進するとともに、本市の魅力積極的に世界に向け発信することにより、人・ものが活発に交流する活力にあふれたまちづくりの実現を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 国際交流協会個人会員数 180人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民レベルで国際交流を推進する京丹後市国際交流協会に対し、運営補助金として1,390千円の財政支援を行った。(補助金交付先の実績:国際理解教室延べ参加人数 58人、国際交流演奏会参加者数 約130人) また、毫州市訪問団(6名)を受け入れた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国際交流協会個人会員数 101人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	29	財源内訳	国庫支出金	
	11	5		府支出金	
	13	37		起債	
	19	1,390		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	1,461	
事業費合計		1,461	合計		1,461

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民が幅広く参加できる国際交流演奏会が開催されるなど、国際理解に向けた活動が活発化したほか、毫州市訪問団の市民による受け入れが実現するなど、市民の国際交流活動が推進された。また、9月より始まった日本語教室では市内の外国人に生きた日本語を教えることができ、日本人と外国人の間での交流推進に役立っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市民が幅広く参加できる国際交流演奏会が開催されるなど、国際理解に向けた活動が活発化したほか、毫州市訪問団の市民による受け入れが実現するなど、市民の国際交流活動が推進された。また、9月より始まった日本語教室では市内の外国人に生きた日本語を教えることができ、日本人と外国人の間での交流推進に役立っている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市民が幅広く参加できる国際交流演奏会が開催されるなど、国際理解に向けた活動が活発化したほか、毫州市訪問団の市民による受け入れが実現するなど、市民の国際交流活動が推進された。また、9月より始まった日本語教室では市内の外国人に生きた日本語を教えることができ、日本人と外国人の間での交流推進に役立っている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国際交流協会の活用の多様性お呼び効果の高い事業が拡大している中で、協会の自主財源だけでは運営できない状況であり、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	国際交流協会の活用の多様性お呼び効果の高い事業が拡大している中で、協会の自主財源だけでは運営できない状況であり、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	国際交流協会の活用の多様性お呼び効果の高い事業が拡大している中で、協会の自主財源だけでは運営できない状況であり、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国際交流協会への財政支援および助言・指導については、今後も進めていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	国際交流協会への財政支援および助言・指導については、今後も進めていく。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	国際交流協会への財政支援および助言・指導については、今後も進めていく。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>C</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国際交流協会の活動の多様化及び拡大が見込まれるところではあるが、協会は自主財源の確保に努めていただき、市は事業規模(補助額)の縮減を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	C	A 事業拡大	理由	国際交流協会の活動の多様化及び拡大が見込まれるところではあるが、協会は自主財源の確保に努めていただき、市は事業規模(補助額)の縮減を図る。		B 現状維持	
C	A 事業拡大	理由	国際交流協会の活動の多様化及び拡大が見込まれるところではあるが、協会は自主財源の確保に努めていただき、市は事業規模(補助額)の縮減を図る。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
27-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	05
細事業名		木津川市等国内交流事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市
	計画項目 (施策) ⑤ 国際交流と地域間交流の推進
	施策方針 3 地域間の連携と交流の強化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成20年1月11日に友好都市盟約を締結した木津川市と文化・産業・観光等の交流を促進することにより、住民福祉の増進及び地域の活性化を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	交流団体数:3団体

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 木津川市との交流事業を行った団体に対して、補助金の交付(25千円)を行った。また、「木津川市木の津まつり」に京丹後市から出展し、京丹後市のPR及び交流を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 交流団体数:1団体

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	4	財源内訳	国庫支出金	
	14	5		府支出金	
	19	25		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	34	
事業費合計		34	合計		34

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当初は、2団体が交流事業を行う予定であったが、新型インフルエンザの流行の影響により、1団体の交流事業が中止となった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	当初は、2団体が交流事業を行う予定であったが、新型インフルエンザの流行の影響により、1団体の交流事業が中止となった。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	当初は、2団体が交流事業を行う予定であったが、新型インフルエンザの流行の影響により、1団体の交流事業が中止となった。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業規模の縮小により実施事業に対する必要最低限の補助である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	事業規模の縮小により実施事業に対する必要最低限の補助である。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	事業規模の縮小により実施事業に対する必要最低限の補助である。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">木津川市との交流は、子どもたちを中心にしながら、イベントでの交流等、人と人との絆を大切にしながら着実に交流・連携を進めているところ。今後は行政レベルでの交流をはじめ、民間レベルにおいてもさらに幅広い分野で、さまざまな交流を促進していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	木津川市との交流は、子どもたちを中心にしながら、イベントでの交流等、人と人との絆を大切にしながら着実に交流・連携を進めているところ。今後は行政レベルでの交流をはじめ、民間レベルにおいてもさらに幅広い分野で、さまざまな交流を促進していく必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	木津川市との交流は、子どもたちを中心にしながら、イベントでの交流等、人と人との絆を大切にしながら着実に交流・連携を進めているところ。今後は行政レベルでの交流をはじめ、民間レベルにおいてもさらに幅広い分野で、さまざまな交流を促進していく必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業の実施に当たっては、京都府の最北・最南端という位置関係から移動・宿泊等に係る経費の確保が難しい状況ではあるが、現状の事業規模のなかで、事業の継続実施が図れるように努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	事業の実施に当たっては、京都府の最北・最南端という位置関係から移動・宿泊等に係る経費の確保が難しい状況ではあるが、現状の事業規模のなかで、事業の継続実施が図れるように努める。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	事業の実施に当たっては、京都府の最北・最南端という位置関係から移動・宿泊等に係る経費の確保が難しい状況ではあるが、現状の事業規模のなかで、事業の継続実施が図れるように努める。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
28-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	03	01
細事業名		文化のまちづくり推進事業				

担当部局	企画政策部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	嶋本 友美

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ⑥ 文化芸術活動の振興 施策方針 1 文化芸術活動の支援 2 文化芸術鑑賞機会の充実 3 文化の薫るまちづくりの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 文化芸術活動の振興を図り、地域活性化につなげる。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) イベント開催数 100回

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 文化芸術活動の振興を通じて地域の交流を深め、文化の薫り高い京丹後のまちづくりに寄与することと目的とする「京丹後文化のまちづくり実行委員会」に対して、補助金を交付して活動を支援したほか、(財)京都府丹後文化事業団とともに宝くじ文化講演「グレン・ミラーオーケストラ」を開催した。 ・文化のまちづくり実行委員会(補助金交付先の実績:先進地視察人数 11人、実行委員会の開催6回) ・宝くじ文化講演「グレン・ミラーオーケストラ」の開催(会場照明器具操作手数料等101千円)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 優秀文化芸術公演(グレンミラーオーケストラ)の開催(1回)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	22	財源内訳	国庫支出金	
	12	78		府支出金	
	19	120		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	220	
事業費合計		220	合計		220

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 文化芸術活動に市民が企画、参加する仕組みづくりなどに向けて、市としても一定の支援を行っていく必要がある。
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 文化のまちづくり実行委員会には、自主財源の確保の方策について検討いただきながら、継続的に市民の文化芸術に親しむ機会を創出していく必要がある。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号
28-2

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	12	01
細事業名		国民文化祭開催準備経費				

担当部局	企画政策部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	嶋本 友美

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ⑥ 文化芸術活動の振興 施策方針 1 文化芸術活動の支援 3 文化の薫るまちづくりの推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 平成23年に京都府で開催される国民文化祭・京都2011において、京丹後市で小町ろまん「短歌大会」、シルクファッションフェスティバル、シンポジウム「健康長寿」を開催するにあたり、それらの検討・準備を実施する。 事業の目的 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成23年度に開かれる国民文化祭・京都2011において、京丹後市を舞台に小町ろまん「短歌大会」、シルクファッションフェスティバル、シンポジウム「健康長寿」を開催し交流や文化振興を図る。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 国民文化祭京丹後市実行委員会へ300千円の財政支援を行った。(補助金交付先の実績: 企画・運営を行う3つの企画委員会を設置し、述べ7回企画委員会を開催。第24回国民文化祭開催地の静岡県を視察人数 16人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 第26回国民文化祭・京都2011において京丹後市で実施する小町ろまん「短歌大会」、シルクファッションフェスティバル、シンポジウム「健康長寿」について、内容の検討等が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	9	81	財源内訳	国庫支出金		
	19	300		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		381
				合計		381

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 国民文化祭京丹後市実行委員会および各企画委員会を設置し、第26回国民文化祭・京都2011の京丹後市内開催に向けた事業について、必要な検討・調査を行うことができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 自主財源がなく、また先催催である静岡県への視察など必要な活動が実施されていることから、コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成23年度の国民文化祭・京都2011の開催に向けて、引き続き取り組みを行う。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 平成23年度の国民文化祭・京都2011の機運醸成や京丹後市内実施事業の開催に向け、平成22年度はプレ事業を実施する。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	02	01
細事業名		地方バス路線運行維持補助金				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	野木 秀康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 1 市バスの運行と低額運賃の実現
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 運行事業者に対し経営支援を行い、同時に合併後の「わかりやすく使いやすい」新たな公共交通体系の構築を図るとともに、地域の公共交通について「知ってもらい」⇒「乗ってもらい」⇒「愛用してもらい」ためのバスの利用促進活動を支える。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 年間輸送人員 32万人 公共交通空白地域(居住対象)人口をおよそ5,700人までに抑制 運賃収入 50百万円

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 上限200円バスの運行主体である丹後海陸交通㈱の運行欠損額に対して、国と京都府と協調して財政支援(補助金の交付90,796千円)を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 輸送人員 32万人 公共交通空白地域(居住対象)人口を7,800人から6,000人までに抑制

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	90,796	国庫支出金		
			府支出金	路線維持補助金等	2,801
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	活性化・再生補助金	3,327
			一般財源		84,668
事業費合計		90,796	合計		90,796

CHECK										
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか									
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td>年間 実証前 実証後(H21) 成果</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> <td>乗車人員・・・173千人 328千人 +155千人(達成⇒要継続)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> <td>空白地人口・・・11,800人 6,000人 -5,800人(解消に前進)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>運賃収入・・・45百万円 51百万円 +6百万円(達成⇒要継続)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	年間 実証前 実証後(H21) 成果	▲ 少し遅れている(少しできていない)	乗車人員・・・173千人 328千人 +155千人(達成⇒要継続)	× 遅れている(できていない)	空白地人口・・・11,800人 6,000人 -5,800人(解消に前進)		
○ 進捗している(できている)	理由	年間 実証前 実証後(H21) 成果								
▲ 少し遅れている(少しできていない)		乗車人員・・・173千人 328千人 +155千人(達成⇒要継続)								
× 遅れている(できていない)		空白地人口・・・11,800人 6,000人 -5,800人(解消に前進)								
		運賃収入・・・45百万円 51百万円 +6百万円(達成⇒要継続)								
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか									
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td>利便性の大幅な向上(便数増、路線距離の延伸)を行ったにもかかわらず、運行事業者の経費削減努力と利用者的大幅増加により収入増が大きく寄与し、補助金抛出額の圧縮に至った。市からの補助額の推移は、実証前(H18)の94,564千円から90,796千円(H21)に。参考:1km当たり必要経費267.92円(H18)⇒239.66円(H21)</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> <td></td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> <td></td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	利便性の大幅な向上(便数増、路線距離の延伸)を行ったにもかかわらず、運行事業者の経費削減努力と利用者的大幅増加により収入増が大きく寄与し、補助金抛出額の圧縮に至った。市からの補助額の推移は、実証前(H18)の94,564千円から90,796千円(H21)に。参考:1km当たり必要経費267.92円(H18)⇒239.66円(H21)	▲ 少し削減の余地があった		× 削減の余地があった			
○ 削減の余地がなかった	理由	利便性の大幅な向上(便数増、路線距離の延伸)を行ったにもかかわらず、運行事業者の経費削減努力と利用者的大幅増加により収入増が大きく寄与し、補助金抛出額の圧縮に至った。市からの補助額の推移は、実証前(H18)の94,564千円から90,796千円(H21)に。参考:1km当たり必要経費267.92円(H18)⇒239.66円(H21)								
▲ 少し削減の余地があった										
× 削減の余地があった										

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">運行事業者である丹後海陸交通㈱との協働を進め、効率的な運行に努めながら、さらなる利便性の向上を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	運行事業者である丹後海陸交通㈱との協働を進め、効率的な運行に努めながら、さらなる利便性の向上を図る。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
A	A 現状維持	理由	運行事業者である丹後海陸交通㈱との協働を進め、効率的な運行に努めながら、さらなる利便性の向上を図る。						
	B 内容の見直し								
	C 統廃合・休止・終了								
	事業規模の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">これまで比較的、短期間で路線拡大等を行ってきたため、それぞれの路線のしっかりとした育成に重点を置き、現在の成績が落ち込まないよう利用促進を図り、運行収入を増加させ、補助金抛出額の抑制に努める。併せて、公共交通空白地域の解消も検討する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	これまで比較的、短期間で路線拡大等を行ってきたため、それぞれの路線のしっかりとした育成に重点を置き、現在の成績が落ち込まないよう利用促進を図り、運行収入を増加させ、補助金抛出額の抑制に努める。併せて、公共交通空白地域の解消も検討する。		B 現状維持		C 事業縮小
B	A 事業拡大	理由	これまで比較的、短期間で路線拡大等を行ってきたため、それぞれの路線のしっかりとした育成に重点を置き、現在の成績が落ち込まないよう利用促進を図り、運行収入を増加させ、補助金抛出額の抑制に努める。併せて、公共交通空白地域の解消も検討する。						
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	04	01
細事業名		市営弥栄延利線バス運行事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	野木 秀康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 1 市バスの運行と低額運賃の実現
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 車を持たない高齢者や高校生などの交通弱者に対して、「移動手段」を確保する。効率的な運行を進めるため、利用状況に応じてデマンド運行(事前電話予約運行)を実施する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生活交通の運行維持 公共交通空白地域の解消(2集落程度)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 上限200円バスである市営弥栄延利線(1路線)の運行 利用者2,351人(前年度比496人) 路線延長52.2km(前年度比16.8km)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 3往復の運行から4往復になったことで、より使いやすいバス路線となった。地域の貴重な「生活の足」を確保できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
事業費合計	11	902	国庫支出金	
	12	47	府支出金	生活路線補助金 2,849
	13	4,914	起債	
			分担金・負担金	
			その他	運賃収入 333
			一般財源	2,681
			合計	5,863
事業費合計		5,863	合計	5,863

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">土曜、日曜、祝日をデマンド運行(事前電話予約による運行方式)を導入することで、より効率的な運行を行うことができた。利用者は着実に増加傾向にある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	土曜、日曜、祝日をデマンド運行(事前電話予約による運行方式)を導入することで、より効率的な運行を行うことができた。利用者は着実に増加傾向にある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			土曜、日曜、祝日をデマンド運行(事前電話予約による運行方式)を導入することで、より効率的な運行を行うことができた。利用者は着実に増加傾向にある。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	人口が減少している状況の中ではあるが、過疎化が進む集落の安心した暮らしを実現するために、輸送サービスを低下させることなく維持していきたい。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	利用促進活動(広報による周知)を行い、利用者の増加を図りつつ、輸送サービスを維持することが優先課題である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	04	02
細事業名		市営久美浜バス運行事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	野木 秀康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 1 市バスの運行と低額運賃の実現
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 車を持たない高齢者や高校生などの交通弱者に対して、「移動手段」を確保する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生活交通の運行維持 公共交通空白地域の解消(1集落程度)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 上限200円バスである市営久美浜バス(川上線、佐濃北線、二区環状線)の運行 利用者14,022人(前年度比1,151人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域の貴重な「生活の足」を確保できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
予算科目	11	2,899	国庫支出金	
	12	286	府支出金	生活路線補助金 5,144
	13	8,637	起債	
	27	88	分担金・負担金	
			その他	運賃収入等 2,521
			一般財源	4,245
事業費合計		11,910	合計	11,910

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">利用者が着実に増加しており、バス輸送サービスが地域に浸透している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	利用者が着実に増加しており、バス輸送サービスが地域に浸透している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	利用者が着実に増加しており、バス輸送サービスが地域に浸透している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	上限200円バスの運行にあたり、利便性の向上策を展開しており、削減の余地はなかったが、より効率的な運行に努めることができた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	人口が減少している状況の中ではあるが、過疎化が進む集落の安心した暮らしを実現するために、輸送サービスを低下させることなく維持していきたい。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	利用促進活動(広報による周知)を行い、利用者の増加を図りつつ、輸送サービスを維持することが優先課題である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	01
細事業名		丹後大宮駅管理事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後大宮駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	751	国庫支出金		
	12	147	府支出金		
	13	5,271	起債		
	14	132	分担金・負担金		
	15	73	その他	大宮駅ふれあいホー	300
				乗車券類販売手数料	1,324
			一般財源		4,750
事業費合計		6,374	合計		6,374

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	02
細事業名		峰山駅管理事業				

担当部局	担当課長の氏名
企画総務部	
担当課等	担当者の氏名
企画政策課	濱上 喜久男
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保
	施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 峰山駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	2,393	国庫支出金		
	12	81	府支出金		
	13	7,299	起債		
	14	407	分担金・負担金		
	15	2,648	その他	活性化・再生補助金	1,986
				峰山駅舎ギャラリー付	180
				乗車券類販売手数料	2,920
			一般財源		7,742
事業費合計		12,828	合計		12,828

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	03
細事業名		網野駅管理事業				

担当部局	担当課長の氏名
企画総務部	
担当課等	担当者の氏名
企画政策課	濱上 喜久男
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保
	施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 網野駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	1,287	財源内訳	国庫支出金	
	12	90		府支出金	
	13	7,846		起債	
	14	242		分担金・負担金	
			その他	網野観光情報センター	180
				乗車券類販売手数料	2,478
			一般財源		6,807
事業費合計		9,465	合計		9,465

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	04
細事業名		木津温泉駅管理事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保
	施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 木津温泉駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	607	国庫支出金		
	12	65	府支出金		
	13	4,395	起債		
	14	39	分担金・負担金		
	15	2,340	その他	活性化・再生補助金	1,755
				乗車券類販売手数料	1,136
			一般財源		4,555
事業費合計		7,446	合計		7,446

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	改善	事業規模の方向性	
		B	A 事業拡大
		B 現状維持	
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	05
細事業名		丹後神野駅管理事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 丹後神野駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	449	財源内訳	国庫支出金	
	12	78		府支出金	
	13	4,690		起債	
	14	19		分担金・負担金	
			その他	乗車券類販売手数料	360
			一般財源		4,876
事業費合計		5,236	合計		5,236

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	06
細事業名		甲山駅管理事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 甲山駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	36	財源内訳	国庫支出金	
	12	14		府支出金	
	13	168		起債	
	14	34		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	252	
事業費合計		252	合計		252

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。
	A 現状維持	
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。
	B 現状維持	
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	01	07
細事業名		久美浜駅管理事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 久美浜駅の維持管理を行うことにより、鉄道利用者の利便性を確保するとともに京丹後市の玄関口としての機能の充実、公共交通利用の促進を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるように乗車券の販売や清掃等駅の管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	1,044	国庫支出金		
	12	138	府支出金		
	13	6,176	起債		
	14	39	分担金・負担金		
	15	248	その他	メモリアルゲート久美	180
				乗車券類販売手数料	840
			一般財源		6,625
事業費合計		7,645	合計		7,645

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 鉄道利用者にとって快適に駅の供用が図られるよう乗車券の販売や清掃等の管理運営を行うことができた。 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要があるが、現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。		▲ 少し削減の余地があった	
▲	○ 削減の余地がなかった	理由 施設の管理運営が主体となる事業であることから、効率化を追求することにより経費削減に努める必要がある。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	理由 京丹後市の玄関口となる駅は、常に一定のサービスを提供できる人的・物的な体制を整備・維持する必要がある。
	A 現状維持	
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	理由 現状の事業規模のなかで、より質の高いサービスを確保できるよう努める。
	B 現状維持	
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	03	01
細事業名		北近畿タンゴ鉄道利用促進対策事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	野木 秀康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市 計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保 施策方針 2 北近畿タンゴ鉄道の利用促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域に密着した鉄道輸送サービスを維持するため、第三セクターの北近畿タンゴ鉄道に対して派遣職員の人件費のほか、施設及び車両の保守等の経費を負担する。また、利用促進を図るため北近畿タンゴ鉄道が行うイベント列車の運行に対して補助を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生活交通の運行維持 地域インフラを確保し、まちづくりの基盤を維持する 京丹後市内7駅の乗降者数:500,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 北近畿タンゴ鉄道に対する運営補助 派遣職員の人件費、鉄道軌道輸送高度化事業補助金、赤字経営に対する経営対策基金拠出金、イベント列車補助。 乗って楽しい鉄道への取り組み 沿線への花(芝桜)の植栽 ⇒京丹後市内7駅の乗降者数:399,866人(参考20年度404,088人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民のみならず観光客やビジネスマン等の交通手段の確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	15	4,704	国庫支出金			
	19	96,536	府支出金			
			起債			
			分担金・負担金			
			その他	活性化・再生補助金	3,645	
				ビジネス特急券販売	157	
			一般財源		97,438	
			合計		101,240	
	事業費合計		101,240	合計		101,240

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 第三セクター方式による経営支援を財政面及び利用促進面から実施し、KTRの運行維持に努めることができた。さらに、利用促進策としてのイベント列車の運行補助等には、鉄道の再生・活性化を目的とした国の事業認定を受け、財源的な負担の抑制を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 第三セクター方式による経営支援を財政面及び利用促進面から実施し、KTRの運行維持に努めることができた。さらに、利用促進策としてのイベント列車の運行補助等には、鉄道の再生・活性化を目的とした国の事業認定を受け、財源的な負担の抑制を図ることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 第三セクター方式による経営支援を財政面及び利用促進面から実施し、KTRの運行維持に努めることができた。さらに、利用促進策としてのイベント列車の運行補助等には、鉄道の再生・活性化を目的とした国の事業認定を受け、財源的な負担の抑制を図ることができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 北近畿タンゴ鉄道はJRからの転換後、約20年間が経過しており、車両や安全施設等更新が必要なものも多くある。安全輸送に対する経費削減は、大きな事故を招くことにもつながりかねず、現状としては、地域の鉄道を将来に残していくためには、さらなる財政支援が必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 北近畿タンゴ鉄道はJRからの転換後、約20年間が経過しており、車両や安全施設等更新が必要なものも多くある。安全輸送に対する経費削減は、大きな事故を招くことにもつながりかねず、現状としては、地域の鉄道を将来に残していくためには、さらなる財政支援が必要である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 北近畿タンゴ鉄道はJRからの転換後、約20年間が経過しており、車両や安全施設等更新が必要なものも多くある。安全輸送に対する経費削減は、大きな事故を招くことにもつながりかねず、現状としては、地域の鉄道を将来に残していくためには、さらなる財政支援が必要である。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 人口が減少している状況の中ではあるが、交流人口を呼び込み、地域を活性化させるためには、鉄道は重要な役割を担っている。車社会の進展や少子高齢化などKTRを取り巻く環境はたいへん厳しいが、重要な地域インフラとして、存続させていくための継続した努力が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 人口が減少している状況の中ではあるが、交流人口を呼び込み、地域を活性化させるためには、鉄道は重要な役割を担っている。車社会の進展や少子高齢化などKTRを取り巻く環境はたいへん厳しいが、重要な地域インフラとして、存続させていくための継続した努力が必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 人口が減少している状況の中ではあるが、交流人口を呼び込み、地域を活性化させるためには、鉄道は重要な役割を担っている。車社会の進展や少子高齢化などKTRを取り巻く環境はたいへん厳しいが、重要な地域インフラとして、存続させていくための継続した努力が必要である。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 利用促進活動を行い、利用者の増加を図りつつ、地域住民に親しまれ、観光客やビジネスマンにも移動手段として選択される便利な鉄道に改善することが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 利用促進活動を行い、利用者の増加を図りつつ、地域住民に親しまれ、観光客やビジネスマンにも移動手段として選択される便利な鉄道に改善することが必要である。	B 現状維持
A 事業拡大	理由 利用促進活動を行い、利用者の増加を図りつつ、地域住民に親しまれ、観光客やビジネスマンにも移動手段として選択される便利な鉄道に改善することが必要である。			
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号
33-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	12	05	01
細事業名		コウノトリ但馬空港利用航空運賃助成事業				

担当部局	企画総務部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	小森 剛志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VI うるおい安全都市
	計画項目 (施策) ⑤ 地域交通の確保
	施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの航空便を利用する市民等に対し航空運賃を助成し、コウノトリ但馬空港の利用率を向上させることにより、両空港間の直行便の就航を実現し、もって本市の産業・福祉・文化等の活性化を図る。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
	コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航の実現

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの航空便を利用する市民、市内在勤・在学者、京丹後ふるさと応援団員に対し航空運賃の助成を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 航空運賃助成件数: 約250件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	698	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		698
事業費合計		698	合計		698

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コウノトリ但馬空港の利用率を向上させることにより、コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航を実現し、もって本市の産業・福祉・文化等の活性化を図るために、両空港間の航空便を利用する市民等に対し航空運賃の助成を行った。 当初事業年度である平成21年度の航空運賃助成件数: 246件</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	コウノトリ但馬空港の利用率を向上させることにより、コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航を実現し、もって本市の産業・福祉・文化等の活性化を図るために、両空港間の航空便を利用する市民等に対し航空運賃の助成を行った。 当初事業年度である平成21年度の航空運賃助成件数: 246件	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
○ 進捗している(できている)	理由	コウノトリ但馬空港の利用率を向上させることにより、コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航を実現し、もって本市の産業・福祉・文化等の活性化を図るために、両空港間の航空便を利用する市民等に対し航空運賃の助成を行った。 当初事業年度である平成21年度の航空運賃助成件数: 246件				
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">利用実績に対しての助成であり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	利用実績に対しての助成であり、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	利用実績に対しての助成であり、削減の余地はない。				
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コウノトリ但馬空港の利用実績および大阪国際空港(伊丹)で乗り継ぎ東京国際空港(羽田)まで利用者の増加に貢献した。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	コウノトリ但馬空港の利用実績および大阪国際空港(伊丹)で乗り継ぎ東京国際空港(羽田)まで利用者の増加に貢献した。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
A	A 現状維持	理由	コウノトリ但馬空港の利用実績および大阪国際空港(伊丹)で乗り継ぎ東京国際空港(羽田)まで利用者の増加に貢献した。						
	B 内容の見直し								
	C 統廃合・休止・終了								
	事業規模の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航の実現を図るためにも、引き続き、関係機関と連携しながらより効率的かつ効果的な両空港間の航空便の利用促進策を展開していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航の実現を図るためにも、引き続き、関係機関と連携しながらより効率的かつ効果的な両空港間の航空便の利用促進策を展開していく必要がある。		B 現状維持		C 事業縮小
B	A 事業拡大	理由	コウノトリ但馬空港から東京国際空港(羽田)までの直行便の就航の実現を図るためにも、引き続き、関係機関と連携しながらより効率的かつ効果的な両空港間の航空便の利用促進策を展開していく必要がある。						
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号

38-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	11	01
細事業名		総合計画後期基本計画策定事業				

担当部局	企画政策部
担当課等	担当課長の氏名
企画政策課	浜上 喜久男
	担当者の氏名
	松本 隆明

PLAN

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	VII 計画推進のために		
	計画項目 (施策)	① 効率的な行財政運営の推進		
	施策方針			
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	行政運営の指針となる「第一次京丹後市総合計画」(H17～H26)について、京丹後市のめざす将来都市像を示した基本構想の一部を見直すとともに、平成21年度で計画期間が満了する前期基本計画を見直して後期基本計画(H22～H26)を策定する。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	第二次総合計画(平成27年度～平成36年度)の策定

DO

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	基本構想及び前期基本計画の見直しにあたっては、市民を対象としたアンケート(無作為抽出・3,000人)を実施したほか、学識経験者や公募による市民で構成する総合計画審議会(17人)を設置し、3回にわたり会議を開催。総合計画書の冊子を500部、パンフレット(概要版)を1,000部作成した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	市民の視点を導入した計画の見直し・策定

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	160	財源内訳	国庫支出金	
	9	25		府支出金	
	11	641		起債	
				分担金・負担金	
				その他	
事業費合計		826	一般財源		826
			合計		826

CHECK

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市民アンケートの実施、市内団体の代表や公募などによる市民で構成する審議会でいただいた意見、提言を踏まえたものとなり、市民の視点を導入した基本構想の見直しおよび後期基本計画の策定を行うことができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 基本構想の見直しおよび後期基本計画の策定にあたり、十分な審議を尽くすための必要経費であるため。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	C	A 現状維持	理由 後期基本計画の策定に伴い、第二次京丹後市総合計画の策定まで、いったん休止。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	C	A 事業拡大	理由 平成24年度まではいったん休止とし、平成25年度から、第二次京丹後市総合計画の策定業務に着手予定。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	01	01
細事業名		総合企画調整事務				

担当部局	企画総務部
担当課等	企画政策課
担当課長の氏名	浜上 喜久男
担当者の氏名	高橋 尚義

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針 4 財政の健全化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市総合計画基本構想に基づき、「ひとづくり・ものづくり・交流の先進地 新・丹後王国の創造」に向け、国府事業の採択推進及び各部局にわたる事務事業について総合的な調整を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 国・府の制度・事業を活用した新規政策等の企画立案や既存政策等の総合調整 年2件以上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 総務省・地域おこし協力隊制度活用等国や関係機関との調整をはじめ、平成22年度京都府予算編成に向けた各種要望活動の実施、さらには改正過疎法・地域主権改革関連法等、国の法整備の動きに合わせた国・府との調整を図った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新規政策の立案(地域力創造事業の創設 1件)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	9	336	財源内訳	国庫支出金	
	11	4		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	340
				合計	340

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 新規政策の立案につながった。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 新規政策の立案につながった。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 新規政策の立案につながった。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 本市として必要な総合的企画調整を行うものであり、基本的に現状コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 本市として必要な総合的企画調整を行うものであり、基本的に現状コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 本市として必要な総合的企画調整を行うものであり、基本的に現状コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 引き続き、国・府の制度・事業を活用した新規政策等の企画立案や既存政策等の総合調整を行い、効果的で効率的な市政運営を図る。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 国・府の制度・事業を活用した新規政策等の企画立案や既存政策等の総合調整の精度を高め、より効果的で効率的な市政運営を図る。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-9

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 01	項 02	目 07	事業 09	細事業 01
細事業名	市の花と木選定事業					

担当部局 企画総務部	担当課長の氏名 浜上 喜久男
担当課等 企画政策課	担当者の氏名 嶋本 友美

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) 計画項目 (施策) 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市の花と木の選定にむけて議論を行った。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市の花と木の選定

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市のシンボルとなる市のおよび木の選定を行う「市の花と木と歌制定委員会」に対して、より専門的な見地から調査・研究を行い、提案を行う組織として、平成20年11月に設置された「市の花と木検討委員会」で検討を進め、市の花と木を制定した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市の花の制定(トウテイラン) 市の木制定(ブナ) 平成21年11月21日(土)開催の京丹後市市制5周年記念式典において発表

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	1	36	財源内訳	国庫支出金		
	8	30		府支出金		
	9	6		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		72
				合計		72

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市の花と木を選定し、委員会にて検討市の花をトウテイラン、市の木をブナと定めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市の花と木を選定し、委員会にて検討市の花をトウテイラン、市の木をブナと定めた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市の花と木を選定し、委員会にて検討市の花をトウテイラン、市の木をブナと定めた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はないが、予算執行の縮減に可能な限り努めた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由
B 現状維持		
C 事業縮小		